

秋の全国火災予防運動

火災の発生しやすい気候となる時季を迎えるにあたり、毎年「119番の日」である11月9日(木)～15日(水)までの間「秋の全国火災予防運動」が実施されます。肌寒くなり暖房器具を使う機会も多くなってきますので、火の不始末や火の取り扱いには十分注意しましょう。

全国統一防火標語 **火を消して 不安を消して つなぐ未来**

リチウムイオン電池(充電式電池)からの**火災**に**注意**しよう

最近、スマートフォンや携帯用扇風機などに使用されているリチウムイオン電池から火災が発生しており、市内でも発生事例があります。中でもスマートフォンやタブレットなどを外出先でも充電できるモバイルバッテリーからの火災が急増しています。

衝撃を与えない!

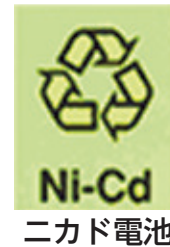
リチウムイオン電池は、外部からの衝撃が加わりへこむなどすると、内部ショートが生じて異常発熱し出火します。リチウムイオン電池搭載製品は小型のものも多く、手をすべらせて落下させたり、ポケットに入れたまま座って体の下敷きになったりすると危険です。衝撃を与えないよう注意をしましょう。

また、捨てる際は通常のごみとして出さず、ごみゼロ課(市役所6階)または電気店などのリサイクル協力店へお持ちください。

リサイクルできる小型充電式電池には、右図のとおり、リサイクルマークがついています。



リチウムイオン電池搭載製品からの出火のイメージ
(一助)全国危険物安全協会発行リーフレット「意外と身近に、危険物～リチウムイオン電池の火災に注意～」より引用)



Ni-Cd
ニカド電池



Ni-MH
ニッケル
水素電池



Li-ion
リチウム
イオン電池



Pb
小形シール
鉛蓄電池

リサイクルマーク

住宅用火災警報器は古くなっていませんか?

10年を目安に交換しましょう

住宅用火災警報器を設置してから10年以上経過している世帯が増加しており、機能点検、交換が重要となっています。

古くなった住宅用火災警報器は、電子部品の寿命や電池切れなどで作動しなくなるため、10年を目安に交換しましょう。

●定期的に「ボタンを押す、またはひもを引いて」作動確認しましょう

正常な場合

「ピーピーピー」、「ピーピーピー火事です」、「正常です」などのお知らせメッセージや警報音が鳴ります。

音が鳴らない場合

電池切れまたは機器本体の故障です。

- 火災ではないのに警報音が鳴る場合は、取扱説明書などで原因を確認しましょう
- 設置時期は、本体に記載されている「製造年」や、設置したときに記入した「設置年月」、「交換期限」で確認しましょう

防火ポスター展入賞者

中学生の部



市長賞 伊藤 あおいさん
(美浜中1年)

- 教育長賞
清水池 さくらさん
(日の出中2年)
- 消防長賞
小林 美穂さん
(日の出中1年)
- 消防団長賞
計良 あるさん
(明海中1年)
- 消防署長賞
三木 昂さん
(美浜中1年)
- 防火安全協会長賞
森本 蘭さん
(美浜中1年)

小学生の部



市長賞 大槻 花凜さん
(明海小5年)

- 教育長賞
玉川 凌晟さん(明海南小6年)
- 消防長賞
廣岡 ゆいさん(見明川小5年)
- 消防団長賞
水口 智貴さん(見明川小2年)
- 消防署長賞
西野 夏未さん (東小6年)
- 防火安全協会長賞
加藤 美南さん (北部小6年)
- 特別賞
内山 斗志さん (北部小2年)
宮崎 ひまりさん(東野小4年)

問 消防本部予防課 ☎304・0143

ID 1040936